



わが校 自慢

学校の広場

～菁莪中学校～



地域に根ざした 学校を目指して

本校は、昭和22年に日勝村立日勝中学校として開校しました。その後、町村合併によって菁莪中学校と校名変更し、現在に至っています。

本校は今年度から新たな取り組みとして3年生での「少人数指導」の数学の授業を行っています。1クラスを課題別、あるいは習熟度別に分け、1教室15人単位で1人の教師がきめ細かく、徹底した「わかる授業」を展開しています。また、昨年度から、総合的な学習の時間の一部として「梨栽培体験学習」を行っています。これは地元の28軒の梨栽培農家に3年生が数名ずつ分かれてでかけ、梨の受粉、摘果から収穫、選果を実際に体験するものです。梨の成長の過程を目の当たりにしながら、1つの物を作り上げることの素晴らしさとその苦労を多くの生徒が感じています。また、地域のかたがたとのふれあいを通してさまざまなことを学習しています。

本校は本年度から、「個人差に応じた『確かな学力』の向上」を重点テーマとして教育活動に取り組んでいます。情報機器や図書室の活用も含め、『確かな学力』の育成を目指しています。

本校は規模は小さな学校ですが、今後も小規模校の良さを生かして、家庭や地域社会と手を携えながら生徒の育成に努めていきます。

ふるさと 白岡紀行

大山民俗資料館 休館のお知らせ



大山民俗資料館は、引き続き館内整理のため下記のとおり休館します。ご不便、ご迷惑をおかけしますがご協力をお願いします。

期間 10月1日(水)
～10月31日(金)

問合せ先 生涯学習課社会教育係 内線273・274



白岡周辺の貝塚で見られる貝

しょうふくいんかいづか

正福院貝塚 - 縄文時代の玉手箱 -

元荒川の対岸、蓮田市閩戸の綾瀬貝塚と正福院貝塚は、遠い昔元荒川沿いに海が入り込んでいた時期のあることを今に伝える証人です。

約5,000年前、地球規模の気候変動により、極地の解氷が進んで、海面が3mほど上昇しました。その結果元荒川に沿って海が入り込んでいたのです。海といっても川の河口のようなところと考えられます。貝塚に残された貝が、干潟や砂泥底に生息する種類が多いこともこれを裏付けています。

貝塚は、縄文人のゴミ捨て場であると同時に、彼らの食生活や周囲の自然環境を教えてくれる「玉手箱」でもあるのです。



正福院の墓地には、貝の散布状況から5～6か所の地点貝塚があると思われるようです。